

2025年4月30日

各位

沖縄県労働金庫

高校生・大学生に向けた地域活動・社会活動支援策 「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」寄附先グループの活動報告について

沖縄県労働金庫（理事長 東盛 政行）において、高校生・大学生に向けた地域活動・社会活動支援策として2年目となる2024年度「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」を実施しました。

去る18日（金）、沖縄県市町村自治会館にて開催された「地区推進委員会代表者会議」においては、当金庫会員団体の皆さまに向けて「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」寄附先代表の大学生2グループが2024年度活動報告を行いました。

本プロジェクトは、沖縄・地域のために何かしたい高校生・大学生の活動を応援する寄附金となっています。「社会人」より活動資金を得ることが難しい「学生」へ資金支援を行うことで、学生自身が活動を通じて得られる知識や経験の広がり、沖縄の地域活動・社会活動のさらなる活性化を期待します。

記

1. 活動報告会の開催日・場所

2025年4月18日（金） 沖縄県市町村自治会館（那覇市）

2. 報告グループ

（左から）

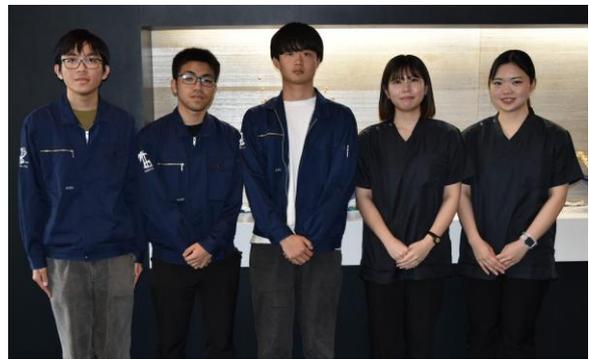
○琉球大学「琉球大学 Robot サークル」

伊良皆 慧斗 さん、玉城 凜乃丞 さん、
伊藤 満太郎 さん

○沖縄県立看護大学・琉球大学・名桜大学

「沖縄県島嶼ケアコミュニティ」

平田 菜奈弥 さん、喜舎場 彩音 さん



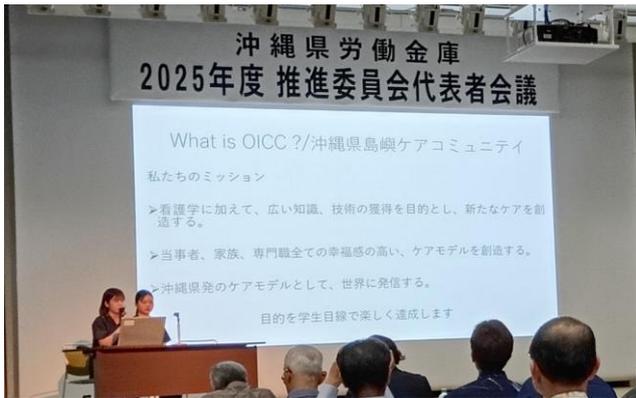
3. 報告会の様子

○琉球大学「琉球大学 Robot サークル」



プログラミングやロボット製作体験等、地域の小中学生を対象として普段なかなか体験できないようなイベントを開催しました。当初は、地域貢献活動として始めましたが、寄附金を活用することで、さらに新人育成や技術力向上にもつながりました。参加した子どもたちは科学の楽しさ、ものづくりの大変さ・難しさ、成功の喜びや失敗から学ぶことの大切さなど忘れられない経験の場を作ることができました。

○沖縄県立看護大学・琉球大学・名城大学「沖縄県島嶼ケアコミュニティ」



※フィジカルアセスメントとは、患者様の全身状態を評価する身体診察技法のこと。

座学だけで身につけることは難しいフィジカルアセスメント（※）を医療トレーニング機材が揃ったセンターで講師の医師を招き実践形式で学ぶイベントを開催することができました。島嶼県である沖縄は緊急を要する場合、県内の医療従事者で対応しなければならないため一人でも多く高い技術を持ち合わせた医療従事者が必要不可欠です。そのためには、実践を積み重ね深く理解する機会が重要です。今回の寄附金で沖縄の医療系学生の「あといっぱい」が進みました。

以上

本件に関するお問合せ先
沖縄県労働金庫 経営統括部
経営企画課 担当：玉城
TEL：098-861-1196